

平成23年度私立学校初任者研修 全国研修会（西日本）実施概要

本年度の初任者研修全国研修会（西日本）が、10月21日（金）から22日（土）の2日間、兵庫県私学会館（神戸市）で開催され、35名の初任者教員が受講した。

初日は、日本航空客室乗務員の経歴を持つ（株）ミズ・インターナショナル代表、水元澄子氏を講師に迎えて、講義と実習を行った。テーマは「企業から学べるビジネスマナー入門」で、名刺交換やお辞儀の仕方など、具体的な実習が行われた。



1泊2日の合宿研修では、夜間も研修が行われる。夜7時から9時までは、少人数のグループに分かれての討議である。各学校での生徒指導上の悩みや、授業の進め方など、若い教員たちは、時を忘れて熱心に議論していた。



研修2日目。この日は午前中に2本の講演と実習が行われた。一つは、同志社大学文学部教授の鈴木直人氏による「児童・生徒の現状を心理学から考える」。もう一つは、麻布高等学校元教諭の原芳典氏による「学校教育相談入門」であった。生徒と教師の関わり、生徒同士の人間関係。揺れ動く思

春期の複雑な心理を、教師はどう理解し指導していくか、教師に課せられた非常に重い課題を、実践的な話題を含めて示唆された。



午後からは、元向上学園理事長、清水秀樹氏の「明日から役立つ生徒指導」であった。問題行動を起こす生徒への対応は、い

つの時代でも教師達を悩まし続ける。そんな教育現場での実践的な事例への対応例を示され、受講者たちは熱心に聞き入っていた。

午後4時からの閉会式では、修了証が手渡され、2日間の研修を終了した。

(高山博通)